

犬山総合高校生との意見交換 フィードバック	
【概要】	
○日時 令和6年3月13日（水）午後2時～午後3時頃 ○会場 犬山総合高校 ○発言者 5組	
【発言項目】	
○発言タイトル「犬山を犬山で売る」	○学年1年
○内容 わん丸君の知名度が低い。わん丸君とアニメキャラとのコラボやわん丸君音頭を作るなど、市内外問わず若者・年配などターゲットを定めて何かをしてはどうか。	
○発言タイトル「eスポーツで活性化」	○学年1年
○内容 カフェの客層分析をした結果と犬山の人口構成で人数が多い世代が重なるため、城下町とフロイデ周辺でeスポーツカフェを開設してはと考える。費用はクラウドファンディングで、運営は専門企業に委託し、高校生はSNSで宣伝をしてはどうか。	
○発言タイトル「犬山市からバーチャルへ」	○学年1年
○内容 バーチャルYouTuberかバーチャルLIVERは、キャラによっては比較的簡易につくれるため、公募をし歌やゲーム配信などで人を引き寄せ、その後犬山の観光名所などの配信に繋げていく。明治時代風やリトルワールドの民族衣裳を生かしながら犬山らしさを生かしたことをやってみてはどうか。	
○発言タイトル「僕らのハザードマップを楽田地区に」	○学年1年
○内容 地図にQRコードを付けて楽田地区の高齢者や子供にとって安全な避難ルートを目で見えて判りやすくしたマップを作成し、小学校の防災授業で活用してほしい。	
○発言タイトル「竹あかりを犬山の文化に」	○学年1年（登壇者は当日欠席のため担任より）
○内容 竹害の原因になっている竹を活用して、比較的簡単に加工ができ誰でも楽しめるイベントとして竹あかりを作り、竹の利活用とまちの活性化を考えてはどうか。	
【議会からのフィードバック】	
アニメキャラやバーチャルYouTuberとのコラボ、eスポーツカフェの開設など、若者らしい切り口からのアイデアには、どれも大変夢があると感じました。また、楽田地区の危険箇所や竹害の問題など、市内の現状の課題点を細かく分析され、我々議員も大変勉強になりました。スピーチの中でも指摘されたように、若者が流出しない活気あるまちが求められており、そのためにも今後は移住・定住促進施策が重要となってきます。学生がまちの将来に魅力を感じ、ファミリーが子育てしやすく、消費人口が増え、需要を求めて商業施設が立地し、さらなる移住・定住が促進されるという好循環を生むために、議会が一丸となって取り組んでいきます。	